

演奏とお話／上野真

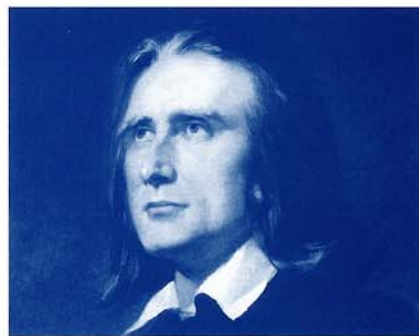


カーティス音楽院にてJ.ボレット、G.グラフマンに師事。その後モーツァルトにてH.ライグラフに師事。メリーランド、ベーゼンドルファー・エンパイア、ジュネーヴ、オルレアン20世紀、リヒテル等の国際コンクールで入賞。京都市芸術新人賞、青山バロックザール賞受賞。CD録音には「リスト・超絶技巧練習曲全曲とトランスクリプション」、「3つのモダンタイムズ」(トビュッシー、バルトーク&ストラヴィンスキー)、「ヘンレ版によるソナチネ・アルバム第2巻・古典」、「歴史的楽器2台によるベートヴェン中期2大ソナタ&幻想曲」等がある。近年は、ロシア、ラトヴィア、ノルウェー、フランス、オーストリア、メキシコ、トルコなどでソロ・リサイタルや協奏曲の演奏会を行っている。現在、京都市立芸術大学にて後進の指導にも当たっている。

Ueno Makoto

リストへの招待 上野真 ”巡礼の年” を弾く

於・京都文化博物館



Franz Liszt (1811-1886)

今年はフランツ・リスト生誕200年の年。それを記念して、アマデウス・クラシック・ライブラリーではリストに注目します。

リストは言うまでもなく19世紀最大のピアニストであり、ピアノにおけるヴィルトゥオーゾ芸術を確立したハンガリーの作曲家です。ベルリオーズに始まる標題音楽を発展させ、交響詩のジャンルを創始し、ワーグナーと共に、「新ロマン主義」と呼ばれ、ピアノ曲を中心に数多くの作品を残しました。今回のライブラリーではリストの作品をあれこれ聴くのではなく、彼の重要な曲集“巡礼の年”第2年《イタリア》全曲を聴くことにより、リストの音楽の真髄に迫ります。

演奏は、カーティス音楽院に16歳で入学し、巨匠ホルヘ・ボレットの最後の弟子の一人として師事した上野真氏を迎えます。リストとその作品についてのお話を交えながら聴かせていただきます。

巡礼の年 第2年

《イタリア》全7曲(1839/1858)

- ・ 婚礼
- ・ 物思いに沈む人
- ・ サルバトーレ・ローザのカンツォネッタ
- ・ ペトラルカのソネット 第47番
- ・ ペトラルカのソネット 第104番
- ・ ペトラルカのソネット 第123番
- ・ ダンテを読んで(ソナタ風幻想曲)

《ヴェネチアとナポリ》全3曲(1861)

- ・ ゴンドラを漕ぐ女
- ・ カンツォーネ
- ・ タランテッラ

3,500円(下記にて発売)

- ・ 旭堂楽器店 中京区寺町通夷川上ル
(TEL.075.231.0538 月曜定休)
- ・ アマデウス音楽事務所
(TEL.075.314.1928)

協会会員は2,000円です。

[アマデウス音楽事務所にお申し込み下さい。]

2011年10月28日(金)

午後6時30分(開場6時00分)

京都文化博物館・別館ホール

(中京区高倉通り三条上ル TEL.075.222.0888)

主催:アマデウス音楽協会